

〔教育実践の記録〕

他者理解を目指した国際理解教育の実践 —その先にあるものは、分かり合うこと、語り合うこと—

末 佐和子（東京都立小石川中等教育学校）

はじめに

「イギリスの大学院にいた頃、シリア人の友人ができました。卒業後、シリアで戦争が始まってしまい、友人は故郷のシリアに帰れなくなり、友人の親戚や家族はトルコやドイツに難民として避難したと聞きました。その時、たとえ相手に直接的な援助ができない時でも、他者を理解し“伝える”という行為で相手の心の支えになれることを私は知りました。この経験から、英語を通して愛や驚き、感動を味わいながら、それが他者理解に繋がる英語教育、国際理解教育を目指したいと考え、東京都の教員採用試験を受けることにしました。」

これは4年前、教員採用試験を受験した時に面接で話したことである。この国際理解教育への想いをどのように実践したか、令和元年度本校の4年生（高校1年生）及び令和二年度5年生（高校2年生）に行った教育実践を記録しておく。

1 国際理解教育の実践内容

通常授業で英語長文やリスニング素材を扱いながら、その英語長文に関連する Skype 交流、講演を入れて、他者理解を目指した温度感のある国際理解を図れるよう工夫した。長文読解（もしくはリスニング）、ディベート、エッセイライティングという流れで1サイクルを完結させた。Input（リスニング、リーディング）から Output（スピーキング、ライティング）の流れで英語を定着させ、リーディングやリスニングの関連論題で自分の考えを構築する、深める（ディベート、エッセイライティング）ことを意識した。

通常授業に加えて、授業で扱った題材に関連する講演及び Skype 国際交流まで含めて完結したものを9回企画した。うち最後の1件は、ジャーナリストの堀潤氏に打診をして、現在企画している最中である。実施した8回分の国際理解教育は以下の通りである。

【難民への理解】

活動	内容
リーディング	難民について
CNN ニュース	最悪の日、犠牲者追悼の日、オバマの最も“いいね”されたツイート
ディベートとエッセイ	Should we accept more refugees in Japan? (日本は難民の受け入れを増やすべきか) Globalization marginalizes the poor. (グローバル化は貧困層を置き去りにしているか否か)

Skype 国際交流	「世界と繋がる英語学習—難民について考える」 内容：JICA のパレスチナ事務所で働くパレスチナ難民の方に、生徒からインタビューを行い、現在の様子や家族への想いを聞いた。また、日本人スタッフの方より、現地の様子や活動内容を聞いた。(協力団体 JICA)
------------	---

【戦争、科学技術への理解】

活動	内容
リーディング	地雷のある世界 (ジオ・サーチ富田氏の挑戦)
CNN ニュース	月の内部での新発見、ロボット—福島での除染作業
ディベートとエッセイ	Are technological advances necessary in order to establish world peace? (世界の平和を構築するためにテクノロジーの進歩は必要かどうか)
講演会	ジオ・サーチ (株) 富田 洋 氏「国境なきインフラ内科医—グローバル社会で挑戦する生き方」 内容：インフラ技術をカンボジア・タイ国境付近で地雷除去に応用した話を聞いた。 また、減災(GENSAI)をキーワードに、グローバルに事業を展開していることを聞いた。

【飢餓、格差社会への理解】

活動	内容
リーディング	飢餓のある世界、格差のある世界、ゴミ山の子どもたち、スラム街の挑戦
CNN ニュース	店頭に見える世界—人種差別と多様性
ディベートとエッセイ	Should the government ban cash crops from the market? (市場から商品作物を廃止すべきか)
Skype 国際交流	「一人ひとりが力を発揮できる世界を目指して—ゴミ山に暮らすスカベンジャーから考える貧困・格差問題」 内容：フィリピンのオロンガポで暮らすスカベンジャー (ゴミを拾って生計を立てている方) に生徒からインタビューをし、生活の様子や家族について聞いた。また、NGO スタッフからフィリピンの物価や最低賃金など説明してもらい、貧困について聞いた。(協力団体 アクション)

【医療支援への理解】

活動	内容
リーディング	アフガニスタンの医療支援、経済支援、自立支援
ディベートとエッセイ	Should the government pay doctors to go work in developing countries? (発展途上国に働きに行く医者に政府はお金を払うべきか)
Skype 国際交流	「平和な世界を目指して—医療支援について考える」 内容：イラクで医療支援を行なっている社会福祉士のクルド系イラク人と看護師のクルド系シリア人に生徒から質問をし、現地の様子や他国との関係について聞いた。また、日本人スタッフから現地の状況や中東について、さらに私達の先進

	<p>国と発展途上国という線引きが果たして合っているかどうかなど聞いた。(協力団体 JIM-NET 日本イラク医療支援ネットワーク)</p>
--	--

【4年次総括：英語を学ぶ意義への理解】

活動	内容
講演会	<p>神田外語大学 柴原 智幸 氏 講演「グローバル社会で noblesse oblige(貴族の義務)を果たすために」</p> <p>内容：恵まれた者には果たすべき責任があるという noblesse oblige の観点から英語学習の目的を聞いた。また、発音練習、山月記の英訳音読、アフガニスタンに関する BBC ニュースの放送通訳に挑戦する機会が得られた。</p>

【戦争への理解】

活動	内容
CNN ニュース	シリア、4年で平均寿命 20年縮まる
ディスカッション とエッセイ	<p>Should the Japanese government encourage more foreigners to settle in Japan? Why, or why not? 【大学入試問題】</p> <p>(日本政府はより多くの外国の方に日本に移住するよう推奨すべきか。)</p>
講演会 (バーチャルツアー)	<p>「1000年の時を超えて～バーチャル工場見学 アレッポの石鹸工場」</p> <p>内容：アレッポの石鹸代表の太田様にご来校いただき、平和だった頃のシリア、ハイパーインフレ、難民、石鹸の歴史について話していただいた。また、爆撃後のアレッポをバーチャルで市街散策、そしてバーチャルで石鹸工場を見学した。(協力企業 アレッポの石鹸)</p>

【戦争への理解】

活動	内容
リーディング	Life in a Jar (ナチスドイツとイレーナサンドラの勇敢な話)
CNN ニュース	難民の数は増加の一途 UNHCR 発表
ディスカッション とエッセイ	<p>How can we prevent war? 【大学入試問題】</p> <p>(戦争を防ぐためにはどうすれば良いか)</p>
講演会 (バーチャルツアー)	<p>「アンネの隠れ家バーチャル見学」</p> <p>内容：HIS アムステルダム支店の方とオンラインビデオ会議ツールでつながり、当時のオランダの情勢、ナチスドイツ、アンネ一家について聞いた。また、平和だった頃のアンネの家や通っていた小学校、アンネの隠れ家をバーチャル見学した。(協力企業 HIS)</p>

【他民族への理解】

活動	内容
リスニング	<ul style="list-style-type: none"> ・マサイ族の相互扶助システムについて ・アフリカのある社会慣習についての人類学講義

講演会	<p>「ルワンダ講座—アフリカの奇跡！IT 立国の光と影」</p> <p>内容：アフリカノオト代表の竹田様とオンラインビデオ会議ツールでつながり、マクロとミクロの視点からルワンダを学んだ。IT 立国として復興したことや女性議員の割合が世界一であることなどのルワンダの現状や、虐殺の歴史、そして虐殺生存者のインタビューを聞き、今後私達がどのように生きるべきか聞いた。（協力企業 アフリカノオト）</p>
-----	--

2 生徒の感想

Skype 国際交流、講演会の生徒の感想は以下のようなものだった。一部抜粋する。

「世界と繋がる英語学習—難民について考える」

パレスチナ人のナウラスさんのお話や質問をすることを通して新たな価値観を手に入れることができました。近年では、機械翻訳の精度が上がってきて、英語なんか学んでも意味がないと考える人もいます。ですが、英語で考え英語で自らコミュニケーションをすることは同じ言語で物事について捉えることができるので、相手の価値観をより正確に理解することができます。何百キロも離れている人と会話ができるということは今の世では当たり前のことですが、私はすごく感動しました。

「一人ひとりが力を発揮できる世界を目指して—ゴミ山に暮らすスカベンジャーから考える貧困・格差問題」

とても身になるお話を伺うことが出来ました。私たちは Skype の授業を受ける前にスカベンジャーについての文章を読んでいました。その時私は、世界にはこのような酷い生活を送っている人がいるんだなととても悲しくなりました。しかしそこで出てきた貧しい人々は私にとって、あくまで文章の中の人々でした。心のどこかで私達とはかけ離れた遠い存在のように感じられていたのです。しかし今回、実際に現地の方のお話を伺うことができ、遠く感じていたスカベンジャーの存在をととても身近により現実味をもって感じる事が出来ました。とても貴重な体験だったと思います。

「平和な世界を目指して—医療支援について考える」

中東の国といわれるとどこか攻撃的な印象がありますが、実際にインタビューに答えていただいたバルザンさんとリームさんも本当にやさしく終始笑顔のたえない方でその国の印象とその国に住んでいる人との間に大きな差があるように感じました。私たちは普段、テレビや新聞、ラジオなどから情報を得ていますが、そこで知れるものとは事実のほんの一部でしかないのでしょう。その国のこと、世界のことを真に理解するには受け身な姿勢ではなく、この Skype のような積極的な態度で向き合っていかなければいけないなと思いました。

「グローバル社会で *noblesse oblige* (貴族の義務) を果たすために」

柴原先生の講演では、とても大事なことを学びました。ますますグローバル化が進む世界に生きる私たちには果たさなければならない義務があるということは、私にとってとても新鮮でした。英語の授業でも世界の様々な問題について学びましたが、私はいつも、私たちにできることが何なのかははっきりしませんでした。しかし、柴原先生のお話では、私たちが色んなことを学び、考え、行動することが大事だということがあり、自分が何をすべきか、そしてどうして今英語を学ぶのかがわかりました。

「1000年の時を超えて～バーチャル工場見学 アレッポの石鹼工場」

私がシリアという国を知った時からずっと内戦のイメージばかり持っていました。しかし、太田さんのお話の中で、内戦前のシリアはとても平和な国で、人々もとても優しく親切だということを知り、シリア内戦について考えさせられました。爆撃の被害は大きく、アレッポの石鹼の工場も被害を受けた建物のひとつでしたが、シリアの人々は自分たちの手で家や工場などの建物を建て直しているということは特に印象的で、戦争に抗えないことのやるせなさを感じました。アレッポの石鹼には1000年もの伝統があるゆえに、内戦によって受け継いできたものを失わせたくないと感じました。実際に現地を訪れたかのような経験ができました。最後に、シリアが平和を1日でも早く取り戻せることを願っています。

「ルワンダ講座—アフリカの奇跡！IT立国の光と影」

アフリカにあると言うだけで貧しい国？紛争が多い国？と言うイメージしかなかった自分が恥ずかしくなるくらい様々なことが知れた。講演の冒頭でおっしゃっていた鳥の目、虫の目で見ると言うことを意識していたら、虐殺という歴史上の大きな背景から、一個人の取り組みや行動にどんどんスポットを絞って、頭に内容が入ってきて、とても分かりやすかった。全体しか見ないことも、細部しか見ないこと（木を見て森を見ずな状態）もどちらもかけてはいけない重要な視点であり、どちらかが欠ければ、根本の真実を見落とす可能性があると思った。今日だけでなく、今後も物事を捉える時、そのような視点の持ち方を大事にしたい。自分が知らない国のこと、人のことを知らないままにして、勝手な想像や偏見を持ったまま見過ごすのではなく、その根本にある本当のことを見逃さないように、全体から細部に焦点を絞って、いろいろな発見をしていきたい。

3 ディベート活動

国際交流や講演会に加え、国際理解教育の一環として、授業と英語研究会の部活動において、英語ディベートの活動を行なった。上記のディベートの論題に加え、英語研究会の部員を指導する時は、日本や世界の問題を考えられるよう論題を設定した。以下は英語研究会で扱ったディベート論題の一部抜粋である。

【扱ったディベート論題（一部抜粋）】

TH supports the deliberate use of fearful rhetoric about pandemic situation.

(本議会はパンデミックの状況について故意に恐怖を与える表現を使うことを支持する)

THBT casinos in Japan will give us benefits than harm.

(本議会は日本にカジノを作ることが害より利益の方が大きいと信じる)

THBT both parents should be forced to take parental leave.

(本議会は両親ともに育児休暇を取得することを強制されるべきだと信じる)

THW establish schools exclusively for LGBTQ students.

(本議会はLGBTQの生徒のためだけの学校を設立する)

THW legalize voluntary active euthanasia.

(本議会は本人の意思による積極的安楽死を合法化する)

THBT police forces should reflect the racial composition of the region that they serve.

(本議会は警察官内の人種比率をその警察が働いている地域の人種比率に合わせる)

THW ban anonymous writing on the internet.

(本議会はインターネット上での匿名での投稿を禁止する)

THBT the IOC should prohibit any type of protest related to race, religion or politics in the Tokyo Olympic Games 2021 in line with the spirit of Olympic Article 50.

(本議会はIOCがオリンピック憲章50条の精神に沿って、2021年の東京オリンピックで、人種、宗教、政治に関連した抗議を一切禁止するべきだと信じる)

上記のような論題で、コロナ禍における日本のあり方、オリンピックのあり方、死ぬ権利について、インターネット上での誹謗中傷、ジェンダーについて、日本の育児制度について、Black Lives Matterについてなど、昨今のニュースと絡めて考えられるような論題設定を心がけ、工夫した。物事のメリットと、デメリットを比較し、日本や世界の課題解決に向けて、何がより良いか考える機会になり、ディベートによる教育効果は大きいと感じた。

4 まとめ

学習面、心理面において生徒に与えた影響は大きく分けると以下の通りになる。

- 1、まず「知る」ことが大切だと体感した生徒が増えた。
- 2、先入観で物事を考えてはいけなと考える生徒が増えた。もともと自分が持っている国のイメージとそこに住む人とを分けて考えられるようになった。
- 3、英語が苦手な生徒でも、世界の課題に関してそのトピックに興味があったり、詳しくあったりする生徒がいるので、そういった生徒も参加することができた。
- 4、英語圏でない国に暮らす人と英語を使ってコミュニケーションをとる面白さを感じる生徒がでた。
- 5、将来国際協力関係の仕事や国連で働きたいと考える生徒がでた。
- 6、Skype 国際交流、講演会を「なぜ私達が英語を学ぶのか」について考えたり、確認したりする機会にしている生徒がでた。
- 7、物事のメリット、デメリットの両側面を考えて自分の考えを構築できるようになった

8、日本や世界の課題を考えるために英語学習があるという認識が生まれた

将来、生徒達が大人になった時に、より世界について知りたい、学びたいと今以上に思う日がやがてくるだろう。自分とは異なる他者を理解すると、語るに値するストーリーをそれぞれの人種、個人が持っていることを知ることができる。他者理解の先に、将来、分かり合うこと、語り合うことが生まれると私は信じている。学びのその先にあるものは、対話を生み、そして物事を「思考」で乗り越える力がつくことだと思っている。自分の夢を描くことに留まらず、日本や世界に貢献するために、志を立てることができる人になってもらいたいと願っている。

おわりに

私の教育実践は、連帯の気持ちを込めて、最後まで教師を目指し、癌とたたかい続けた明治大学出身の同級生に捧げたい。

謝辞

東京都立葛飾商業高等学校の昼間一雄校長先生から多くの励ましをいただきました。ありがとうございました。また、いつも相談に乗ってくださり、支えてくださった前任校の先生、快く Skype 国際交流や講演にご協力いただいた団体、企業の皆様のお力添えがあって授業を行うことができました。そして最後に、明治大学立野正裕名誉教授の教えが私の教育実践の根源となりました。ご協力いただいたすべての方に感謝の意をここに表します。本当にありがとうございました。

- ・ JICAパレスチナ事務所 坂元律子様、パレスチナ難民ナウラス様
- ・ ジオ・サーチ株式会社 富田洋様、伊佐優子様
- ・ NPO法人アクション 山本浩平様、スカベンジャー、現地NGOスタッフの皆様
- ・ JIM-NET（日本イラク医療支援ネットワーク）斉藤亮平様、牧野アンドレ様、クルド系イラク人バルザン様、クルド系シリア人リーム様
- ・ 神田外語大学 柴原 智幸先生 ・ 株式会社アレポの石嶮 太田昌興様
- ・ 株式会社 HIS 畠澤由希様、澤村翠様 ・ アフリカノオト 竹田憲弘様
- ・ 8bitNews 堀潤様、山田由佳様

参考）使用教材

- ・ 岡野友美ほか『CNN Workbook Extended Course 2019』朝日出版社、2019年
- ・ CNN ENGLISH EXPRESS 編『Classi 連携サービス CNN ENGLISH EXPRESS』
- ・ 駿台予備学校 編『東大入試詳解英語リスニング』駿台文庫、2018年、2017年
- ・ 和田玲『アクティブ・リーディング Super 世界を読み解く英語リーディング』アルク
- ・ 和田玲『アクティブ・リーディング Basic』アルク、Unit 13, 15, 16
- ・ 『ELEMENT English Communication II』啓林館、文部科学省検定済教科書、Lesson 4